

ミクロ経済学II（第4回）

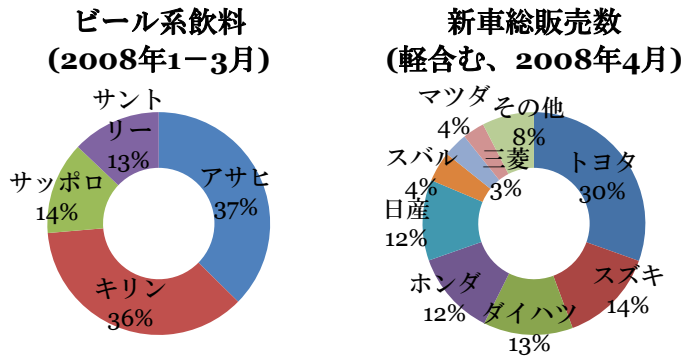
平成20年度第1学期
名古屋大学経済学部
花蘭 誠

市場経済の機能と役割

- 完全競争市場において、価格調整等の市場のメカニズムが機能し、取引の効率性の観点から、実現する市場均衡状態で社会的に望ましい結果が実現。
- **市場原理**: コストの観点から生産が、価値の観点から消費者への分配が、無駄なく(社会的余剰の最大化)かつ自発的に行われる。

完全競争からの逸脱：寡占市場

- 少数企業の市場シェア（占有率）が大きいような市場は多く観察される。**寡占市場**。



不完全競争市場

- 経済構成員(主に企業)が少数であり、それらの各構成員が**価格支配力**を持つような市場
- 不完全競争市場における企業は、どのように行動？

市場均衡は、効率的な資源配分を達成する？
達成しない場合、政府がどう介入すればよい？

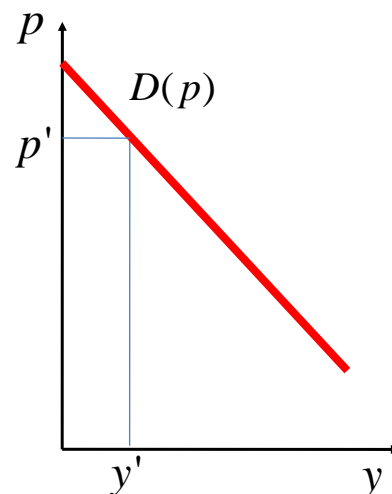
望ましい市場構造を実現するための産業政策は何？

寡占市場その1：独占のケース

- **独占**：市場における企業数が1
- 具体例：Diamonds (De Beers)
- その他：
公益事業(電力・鉄道等)；後述
Microsoft

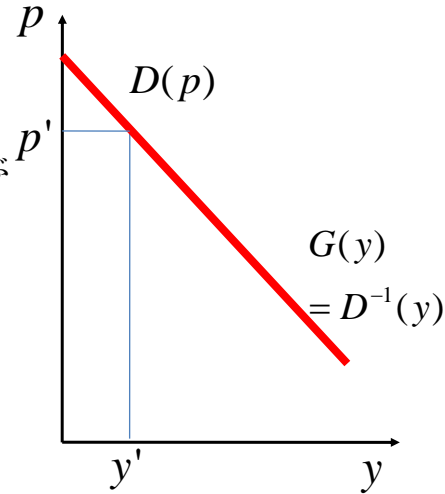
独占企業の行動

- 市場価格は所与ではない。
好きな価格 p を付ける \Rightarrow
消費者は $y=D(p)$ を購入。
- 利潤最大化：
収入： $pD(p)$
費用： $C(y), y=D(p)$



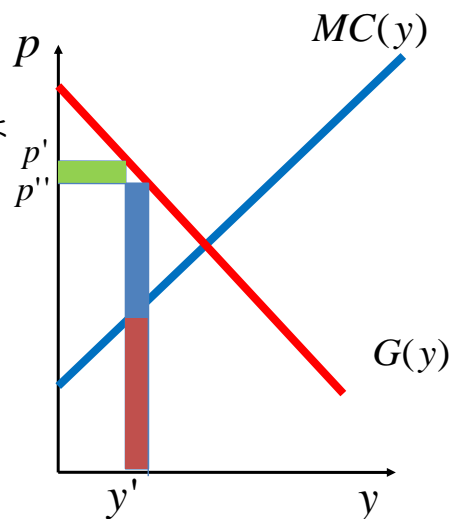
独占企業の行動

- 価格 p と販売量 y は一対一対応
- 価格の代わりに販売量 y を選ぶとしても同じ。
- 販売量 y を設定⇒
市場価格 $p = D^{-1}(y)$
 $D^{-1}(y) = G(y)$ と書く。
- 利潤最大化：
収入： $G(y) \times y$
費用： $C(y)$,



独占企業の行動

- y' から一単位の生産量追加により、利潤増大？
- **価格下落**: $p' \rightarrow p''$
- 限界収入：
追加分の収入 p''
 $-y' \times$ **価格下落** ($p' - p''$)



独占企業の利潤最大化

- **利潤最大化:**
Maximize $\pi = G(y)y - C(y)$
- **一階の条件:**
 $G(y^*) + G'(y^*)y^* - C'(y^*) = 0$
(限界収入) - (限界費用) = 0
 限界収入について詳しく調べる
- **逆関数の微分:**
 $p = G(y), y = D(p)$, より $p = G(D(p))$. 両辺を p で微分
 $G'(y) \times D'(p) = 1$. よって $G'(y) = 1/D'(p)$.

- **一階の条件を書き換えると**
 $p^* + D(p^*)/D'(p^*) - C'(y^*) = 0$
 $\Leftrightarrow p^*(1 + D(p^*)/\{p^* D'(p^*)\}) - C'(y^*) = 0$
- **比較:** 完全競争市場では $p - C'(y) = 0$. すなわち、限界収入は価格 p .
- $D(p)/\{p D'(p)\} < 0$ ゆえ、 $p^* > C'(y^*)$; **独占価格は市場価格よりも高い!**

$D(p)/\{p D'(p)\} ?$

- 価格が1%変化したときの需要量の変化

$$\approx D'(p) \times \Delta p = D'(p) \times (p/100)$$

- 価格が1%変化したときの需要量の変化率(%)

$$\{D'(p) \times (p/100)\} / D(p) \times 100 = D'(p) \times p / D(p)$$

- 需要曲線は右下がり
⇒ 変化量、変化率ともにマイナス

需要の価格弾力性

- **需要の価格弾力性**： $e(p) = -pD'(p)/D(p)$
- **弾力性**：
割合で評価。変数の単位の取り方によらない。
マイナスをつける（値は正になる）
- **需要の価格弾力性が大きい [小さい] 財**；
価格の変化率に対し需要の変化率が大きい [小さい]
需要曲線が水平 [垂直] に近い
例：昼間のタクシー [生活必需品]

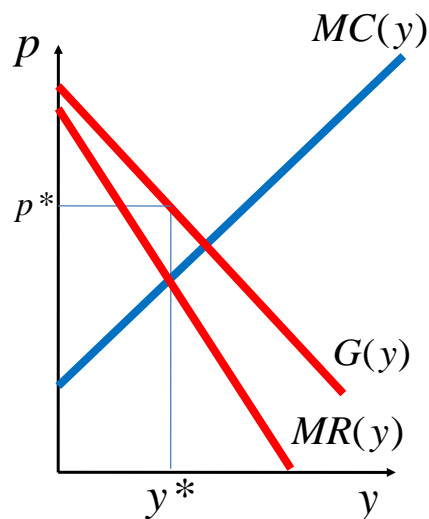
- **独占企業、利潤最大化の一階の条件 (書き換え):**
 $p(1 - 1/e(p)) - C'(y) = 0$

限界収入(Marginal Revenue) : $p(1 - 1/e(p))$
 $e(p) > 1 \Leftrightarrow MR > 0$; 追加的生産により収入増大
 $e(p) < 1 \Leftrightarrow MR < 0$; 追加的生産により収入減少

- $MR(y) < p = G(y)$
MR曲線は、需要曲線の下側

独占企業の行動

- 利潤最大化条件 :
 $MR(y) = MC(y)$
 利潤最大にする y^* 決定
- 市場価格 (独占価格) :
 $p^* = G(y^*)$



練習

- 需要関数： $D(p)=a-p$
費用関数： $C(y)=y^2$
- 1. 逆需要関数 $G(y)$ は？
- 2. 限界収入 $MR(y)$ は？
- 3. 限界費用 $MC(y)$ は？
- 4. 1.-3.に対応する曲線を描け。
- 5. 利潤最大化する y^* と独占価格を求めよ。

